

平成25年11月2日(土) 市民室

ページ	質問趣旨	経過対応	
P2~3	野牛の自治会で使っているゴミ箱がとても良いものなので、その他の地域でも設置してはどうか。	自治会等からゴミかごの設置に関する相談があった場合は、参考例として紹介していきます。【環境保全課】	対応済
P3~4	土地開発公社の借金の問題について、どうしてこのような問題が起きたのか、どうしてここまで放置されてきたのか、そのために検証委員会を設けて、その責任も明らかにし、今後の市としての反省材料にすべきではないか。	平成23年9月に設置した公認会計士、弁護士など専門知識を有する5名の委員で構成する「茂原市土地開発公社経営検討委員会」から、公社はその役割を終えており、三セク債を活用して早期に解散すべきという提言が出されました。また、質問を受け、市長、企画財政部長、企画政策課が中心となり、行政内部において検証した結果、検討委員会と同様の見解であることから、新たな検証委員会は立ち上げないものと判断しました。【企画政策課】	対応済
P14~15	市が基本計画等を策定する場合に、コンサルタントに委託するのではなく、市民のボランティアを募って、ワークショップ的なものを作ってはどうか。	平成28年4月から施行されたまちづくり条例の趣旨を踏まえ、次期総合計画の策定に当たっては、ワークショップなど、様々な手法を活用し、参加しやすい多様な機会の提供に努めていきます。【企画政策課】	対応済
P15	ぜひとも国土調査をやっていただきたい。	地籍調査については、専従職員の配置や予算の確保等、実施までに至っていない状況ですが重要な事業であると認識し、早期に実施したい考えです。【土木管理課】	未実施
P23~24	人口を増やすためにどのような方策を持っているか意見お願いします。	平成27年10月に策定する茂原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、「産業振興」、「結婚・妊娠・出産・子育て支援」、「市民の活力と賑わい」、「暮らしを支える地域力」の各分野に注力して、定着人口の増加に努めていきます。【企画政策課】	対応済

P30	緊急の放送が全然聞こえないので、各家庭に設置できるような防災無線を検討していただきたい。	平成26年4月より防災行政無線から避難勧告等の放送をする際に、音声とサイレンを組み合わせることをしました。 個別受信機については、各戸配布は困難なことから、もばら安全安心メール、自動電話配信サービスの普及を推進し、緊急情報の伝達向上に努めていきます。【総務課防災対策室】	対応済
P30~31	台風26号水害の詳細な検証について	「一宮川浸水対策検討の場」を平成27年3月までに3回開催し、地盤沈下と後半の大雨を主な浸水要因とし、緊急対策案と改修案を取りまとめ、緊急対策の堆積土の撤去、土のう積み堤防嵩上げ、メダケ伐採を平成26年8月までに実施しました。 改修案については、さらに検討されたものが一宮川流域懇談会に諮られ、委員の意見を踏まえた一宮川水系河川整備計画原案が取りまとめられ、河口から阿久川まで拡幅、阿久川から豊田川まで河川敷内で断面拡大、第二調節池40万トン増設を概ね20年の整備目標としました。原案は、国の同意を得て平成27年8月7日に県において正式に策定となりました。 一方、茂原市街地を対象にした早期の対策実施として、「100ミリ安心プラン」に登録し、県と市が連携して浸水対策を行うことで、一宮川の対策として第二調節池増設、阿久川合流点の部分改修、鶴枝川合流点から第二調節池までの嵩上げを計画しています。【土木建設課】	対応済
P33~34	(災害) ボランティアの志のある方を市のほうで登録しておく、何かあった時に連絡ができるような体制を作っておく。	(災害) ボランティアにつきましては、登録窓口を社会福祉協議会として1本化を図り、ボランティア登録から、発生時の動員、活動まで円滑に対応できるよう体制を整えました。【社会福祉課】	対応済